

クマノザクラとは？

クマノザクラは、新たに発見され、2018年に学名 *Cerasus kumanoensis* T.Katsukiとして発表されたサクラの野生種です。これまでヤマザクラとして扱われていましたが、より開花期が早く、花弁が淡紅色、開花時に葉が伸びない、葉の縁が重鋸歯、葉身が長さ40~80mm・幅18~36mmの卵形といった特徴から、独立した種とされました。幹は細く四方に広がる樹形となり、‘染井吉野’に代わる観賞木として期待されています。



紀和町のクマノザクラ

クマノザクラは紀伊半島南部の三重・奈良・和歌山に分布しています。熊野市紀和町内の自然林にも数多く自生しており、‘染井吉野’よりも少し早い3月中下旬に咲きます。自然林だけでなく、集落内に見事な一本桜が数多く見られることが、紀和町のクマノザクラの特徴です。

紀和町内おすすめスポット

丸山千枚田のパノラマ

日本の棚田百選に選ばれており、その景観は素晴らしく、日本一の棚田景観との呼び声もあります。その数は1340枚もあり、年中その絶景を楽しめます。



布引の滝

日本の滝百選の1つ。名称の由来は、水の流が大巾の布地を垂らしたように、音もなく飛沫も立てずに静かに流れ落ちるさまから付けられました。

国指定史跡 赤木城跡

続日本100名城の一つ。築城の名手、藤堂高虎によって作られた平山城で、雲海に浮かぶ城跡は幻想的で、天空の城とも言われています。



ツエノ峰雲海

眼下に広がる雲海、そして昇る朝日。その光景はまさに「神々の郷 熊野」の神秘。その圧倒的なスケールは感動の一言。

湯ノ口温泉

開湯は約700年前、後醍醐天皇の指示でこの周辺の金山を開発した際に発見されたとされています。源泉掛け流しが自慢です。



道の駅 熊野・板屋九郎兵衛の里

「熊野地鶏」をはじめ、熊野の郷土食が味わえます。熊野市の特産品をはじめ、お土産も多数取り揃えています。





1 せいらゆる 瀬流桜 (小川スポーツ公園)

グランドの山手の中央にある大きな木



2 こがわぐち 小川ロケット船乗り場

板屋川と鉄橋にクマノザクラが映えるスポット



3 いたやくろべえ 板屋九郎兵衛桜 (板屋)

周辺のクマノザクラの中では一番開花が遅い



4 えんつうあん 円通庵桜 (円通寺跡)

丁寧に管理されている、太い幹が歴史を語る老木



5 おおみね 大峰桜 (布引の滝)

三重県で最初に発見されたクマノザクラ



6 あかぎ 赤木桜 (八瀬戸)

最大級のクマノザクラ



7 ながおみはる 長尾美春桜 (長尾)

濃紅色で艶やか。紀伊半島随一とも言えるクマノザクラ



8 みょうこう 妙光桜 (小森ダム)

バックウォーターを背にクマノザクラが映えます

クマノザクラはこの他にも町内の自然林で広く見受けられます。



紀和町クマノザクラめぐりマップに関するお問い合わせは、熊野市役所 紀和総合支所 地域振興課までお願いします。TEL:0597-97-1113 (土、日及び祝日は休み)



クマノザクラめぐりマップ内の位置情報や開花状況の詳しい情報はこちらから



その他の市内のクマノザクラ情報はこちらへ